

令和3年度全国高校総体スケート競技・アイスホッケー競技参加にあたり

長野県高等学校体育連盟
スケート専門委員長 市川 英彦

全国総合体育大会参加申込に関し、経費削減及び事務処理簡略化のため、全て「各実行委員会ホームページから必要な書類を <http://aomoriskate.ec-net.jp/71skateinterhigh2022/> よりダウンロードし申し込む方法をとっています。大会申込の際、以下のことに注意してください。

1 参加資格

第66回長野県高等学校スケート競技・アイスホッケー競技会に参加したもので、以下の条件を満たしたものが出場できる。

- (1) スピード 各種目16位まで及びリレー8位のメンバー
- (2) フィギュア 全国高体連スケート専門部で定めた規定による
- (3) アイスホッケー ブロック予選会で出場権利を得たチーム
- (4) ISU 及び IIHF の大会に出場するために、上記大会に参加が困難な場合は、特例措置として出場しない場合でも参加を認める。但し、上記大会の参加申込をしているものに限る。

2 大会申込に関して

- (1) 大会ホームページに掲載されている「大会要項・宿泊要項・輸送要項」等を熟読し、間違いの無いように記入し申し込むこと。
 - ① 大会実施実行委員会ホームページよりダウンロードした様式のうち必要な書類を作成し、入力済みのファイルをプリントアウトして、所属高等学校長の承認(公印押印)を得て、下記に参加料、プログラム代金及び報告書代金を添えて提出すること。
 - ② プログラムは参加選手一人一部の購入をお願いします。
 - ③ スピード・アイスホッケー参加校は、全てのファイルを削除せず、**12月27日(月)正午までに**フィギュア参加校は**12月15日(水)正午までに**実行委員会宛にメールにて送信すること。また、「宿泊申込書」を指定の配宿センターに12月22日正午までにFAXで送信すること。
 - ③ スピード競技の出場距離、フィギュア競技の演技予定要素リストは**日本スケート連盟Web申し込みを必ず行うこと。また、返信される受理通知を保存しておくこと。**
- (2) 申し込み締め切り

令和3年12月20日(月)正午必着

注) 実行員会の書類締め切りは、12月27日になっていますが、長野県高体連から「高体連会長」の出場許可(公印押印)をいただくため、県内締め切りが早くなっています。これを過ぎたあとは、事務処理の関係上申し込みを受け付けません。ご注意ください。

* 県大会時も受け受けます。

(3) 申し込み先

ア 書類関係 〒384-1105 南佐久郡小海町千代里1006-2 小海高等学校内 市川 英彦宛
イ 振り込み 振込先口座 : 八十二銀行 浅川若槻支店(225) 425003
口座名義 : 長野県高体連スケート専門部 委員長 市川 英彦
※必ず学校名で振り込むこと

補足注意事項

- 1) 実行委員会より、送信を指定された書類・写真以外は直接送付しないこと。
- 2) 大会参加料・プログラム・報告書等の代金を、実行委員会に直接入金しないこと。プログラムは大会開催地の貴重な財源となるので購入をお願いします。
- 3) 大会における「引率・監督・コーチ」は、大会要項(7引率・監督の項)に従うこと。また、外部コーチとは正式な契約を結んでおくこと。委嘱や契約のコピーを添付。
- 4) 大会期間中は、大会事務局が指定した宿舎以外に宿泊することはできない。
- 5) 全国総体参加報告書(会計様式12)は、大会参加終了後速やかに「長野県高体連事務局」に送付すること。
用紙は、長野県高体連ホームページの様式集等からダウンロードして使用すること。
- 6) 様式 S1-1、S1-2シートの最後高体連会長名 小林武広 を入れてください。

全国高校選抜の申し込みについて

全国総合体育大会と同様に参加申込に関し、経費削減及び事務処理簡略化のため、全国高体連スケート専門部ホームページよりダウンロードし申し込む方法をとっています。大会申込の際、以下のことに注意してください。

1 大会申込に関して

- (1) 大会ホームページに掲載されている「大会要項」を熟読し、間違いの無いように記入し申し込むこと。
- (2) 高校選抜の申し込みについて市川はノータッチになります。各校で申し込みを行ってください。その際、高体連会長印が必要になりますので次のようにしてください。
 - * 書類を作成したら実行委員会宛の切手を貼った封筒を同封して、県高体連に送ってください。県高体連にはお願いをしてありますので必ず実行委員会宛の切手を貼った封筒を同封してください。
- (3) (2)に加えデータ送信と日本スケート連盟のマイページ申し込みも忘れずに行ってください。

昨年はインターハイで直接送金、高校選抜で市川のところに申し込みが送られてきたケースがありました。高校選抜は締め切りが国体期間中で帰ってからの対応になったため実行委員会のプログラム作成に迷惑をかけたという事例がありました。ので注意してください。